

# 福祉サービス第三者評価

〔令和5年度〕

## 評価結果報告書

エルシーワークス株式会社  
キッズルームOhana平和島園

評価機関 有限会社エテルノ

1	<p><b>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</b></p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>（理念） Ohanaの意味はハワイ語で「家族」。温かい雰囲気の中、お預かりするお子様だけでなくお預けいただく保護者の皆様、働く保育士も含め、関わるすべての人が家族とのふれあうような幸せで楽しく貴重な時を過ごし、幸せになる環境づくりをしています。</p> <p>（方針） ・子どもたちが明るく衛生的な環境の中で、心身ともに健やかに育成されるように努めるとともに家庭と連携のもと、子どもの発達を踏まえた養護、及び教育を一体的に行うことにより、子どもたちの生きる力を育みます。 ・あいさつと感謝の気持ちを基本とし、積極的にコミュニケーションを取れる子どもへと教育をします。未来を担う子どもたちの「個性」を大切に保育を行います。</p> <p>（目標） ・家族のように、人とのあたたかい触れ合いを積み重ね、愛されることを知り、人への思いやりを持った子どもの育成を目指しております。 ・一人ひとりの発見や気づきから、興味や関心の深まりにつなげ、考える力や知る楽しさを感じることで保育や関わりをする。</p>
2	<p><b>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</b></p> <p>（1）職員に求めている人材像や役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの気持ちを受け止め、個々の気づきや考えに専門的にアプローチし、よりよく、様々な成長につなげられる職員</li> <li>・自分の役割や必要なスキルを理解し、自己学習をしたり他者への思いやりを持って職務を行える職員</li> </ul> <p>（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えや保育感をしっかりと持ちながら他職員の考え方や保育感を共有したり、尊重し高めあっていけること</li> <li>・自己の能力を客観的な視点で理解でき、協調性を持つこと</li> <li>・失敗から反省や学びを得たり、プラスの要素にできること</li> </ul>

《事業所名：エルシーワークス株式会社キッズルームOhana平和島園》

調査対象

保育園に通っている園児21世帯23人に対して調査を行った。同一保育園に2名以上の園児を預けている場合には、年齢の一番低い園児に対して回答して頂いた。

調査方法

施設の職員が調査票を保護者へ配布した。記入された調査票は封緘のうえ返信用封筒による郵送、または施設に設置した回収箱により収集した。結果は選択式・自由記述式ともに園に報告し、自由意見には回答者の匿名性に配慮した処理を適宜行った。

利用者総数	23
利用者家族総数(世帯)	21
共通評価項目による調査対象者数	21
共通評価項目による調査の有効回答者数	18
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	85.7

利用者調査全体のコメント

総合的な感想として園に対する満足度は、「大変満足」61.1%、「満足」33.3%の計94.4%であった。自由意見では、「先生が子どもの気持ちを尊重してくださっていると思います。」「先生がとても素敵で、アットホームなので本当に良いです。」など、子どもや保護者への配慮など職員の対応、日常の保育などに対する感謝の声が多く寄せられている。向上または検討を望む意見としては、保護者とのコミュニケーションに関することや保育内容、職員の子どもや保護者への対応、設備に関する事など、回答者個々の考え方や気になる点が寄せられている。設問別では、「心身の発達」「興味や関心」「食事」「自然や社会との関わり」「保育時間の変更」「安全対策」「信頼関係」「整理整頓」「接遇」「病気やけが」「トラブル対応」「気持ちの尊重」「プライバシーの保護」「保育内容の説明」「不満や要望の対応」などの17問中15問が80%以上の支持を得ている。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	16	1	1	0
「はい」の回答は88.9%、「どちらともいえない」の回答は5.6%、「いいえ」の回答は5.6%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	17	1	0	0
「はい」の回答は94.4%、「どちらともいえない」の回答は5.6%であった。 自由意見では、「英語の先生がよく来てくださるので、子どもも楽しんで英語と触れ合うことができます」という声が多く寄せられていた。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	17	1	0	0
「はい」の回答は94.4%、「どちらともいえない」の回答は5.6%であった。 自由意見では、「子どもが私に自慢するほど気に入っているようです」という声が多く寄せられていた。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	17	1	0	0
「はい」の回答は94.4%、「どちらともいえない」の回答は5.6%であった。 自由意見では、「公園で捕まえた昆虫を園で飼育したり、生き物と関わったりする機会が多いと思います」という声が寄せられていた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	16	1	0	1
「はい」の回答は88.9%、「どちらともいえない」の回答は5.6%、「無回答・非該当」の回答は5.6%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	16	1	0	1
「はい」の回答は88.9%、「どちらともいえない」の回答は5.6%、「無回答・非該当」の回答は5.6%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	14	2	1	1
「はい」の回答は77.8%、「どちらともいえない」の回答は11.1%、「いいえ」の回答は5.6%、「無回答・非該当」の回答は5.6%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	16	1	0	1
「はい」の回答は88.9%、「どちらともいえない」の回答は5.6%、「無回答・非該当」の回答は5.6%であった。 自由意見では、「先生が相談にのってくれるのでとても助かっています」という声が寄せられていた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	17	0	0	1
「はい」の回答は94.4%、「無回答・非該当」の回答は5.6%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	17	0	0	1
「はい」の回答は94.4%、「無回答・非該当」の回答は5.6%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	17	0	0	1
「はい」の回答は94.4%、「無回答・非該当」の回答は5.6%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	15	2	0	1
「はい」の回答は83.3%、「どちらともいえない」の回答は11.1%、「無回答・非該当」の回答は5.6%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	15	2	0	1
「はい」の回答は83.3%、「どちらともいえない」の回答は11.1%、「無回答・非該当」の回答は5.6%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	15	2	0	1
「はい」の回答は83.3%、「どちらともいえない」の回答は11.1%、「無回答・非該当」の回答は5.6%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	15	2	0	1
「はい」の回答は83.3%、「どちらともいえない」の回答は11.1%、「無回答・非該当」の回答は5.6%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	16	1	0	1
「はい」の回答は88.9%、「どちらともいえない」の回答は5.6%、「無回答・非該当」の回答は5.6%であった。 自由意見では、「全く不満はありません」という声が寄せられていた。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	14	3	0	1
「はい」の回答は77.8%、「どちらともいえない」の回答は16.7%、「無回答・非該当」の回答は5.6%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している ○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている ○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えていく ○非該当
	カテゴリ1の講評	
	職員や保護者に対して理念、運営、教育方針の詳細な解説とその実践を行っている 園の理念や運営、保育方針等を記載した園のパフレットを回覧の形で提示し、職員は随時閲覧できるようにしており、年間保育指導計画に理念を明示して、年度当初には職員説明を行っている。園体で行う新人研修で「園が大切にしていること」を伝えており、これらの確認の意味を含めて、全職員に人事考課で自己評価を実施して理解を確認している。利用希望者や保護者には見学時から園の考え方を記載した資料で説明を行うと共に、入園後も説明や懇談会で重要事項説明書の説明を行い、園だよりでも伝えるようにしている。	
	同じ方向を向いた保育への促しを行い、小規模保育園の運営と教育方針に努めている 1～5歳児までのクラスと1フロアの構成という小規模な園なので、職員相互で役割や位置を確認しており、園長もクラスミーティングで園全体や子ども達、職員の様子を把握するよう努めている。園長は面談や日常のふれあい等で職員の気持ちや意見を汲み取り、全職員が同じ方向を向いて気持ちを合わせて保育を行っている。また、園長自身が言ったことは自らやってみせるようにしつつ、毎月の会議やミーティングへ積極的に参加して職員間の意識共有や運営、保育に意識や責任を持ってもらうように計らっている。	
	重要事項の職員の意見の吸い上げ、周知と共有、保護者への情報提供が行われている 法人内で重要な事項を決定していくプロセスは、法人の園長会や区の私立園長会で出された事項を決定事項として職員会議で伝えている。園内での重要な事項についての検討は職員の意見を吸い上げるようにしており、結果やそれに基づく指示等についても周知や共有に努めている。保護者には行政からのお知らせや園長からのお知らせを掲示している。緊急配信メールの巨大地震が起きたというテストメールを送っている。一斉配信メールやコロナ陽性の一斉メールを配信している。	

2 カテゴリー2		
事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
2 カテゴリー2の講評		
<p><b>保護者と職員の意向の把握、行政ガイドラインに基づく保育を展開している</b></p> <p>運営に対する保護者の意見や要望は、年2回の運営委員会、行事後アンケート、個人面談、懇談会などで把握し、職員会議や回覧により職員間で共有している。職員の意向は、職員会議や個別面談で把握している。また、行政の示すガイドラインに沿った保育を展開しており、繋がりを密に保つようにしていて、福祉や保育に関する情報は行政や各種の媒体を通して得ている。子どもの事故等の重要な情報は会議で話し合い、注意点を確認し、事態に備えるようにして、回覧が必要なものはコピーして周知を図っている。</p> <p><b>事業報告書を通じた経営状況の検証と反省を踏まえた課題抽出と対応策を考えている</b></p> <p>地域の福祉の現状や福祉業界全体の動向については、インターネットで厚生労働省のサイトや運営委員会などに出席し情報収集している。事業全体に関する検証や振り返りについては、事業報告書にて園の経営状況を提示しており、その反省に立って今年度はどうしたらできるかといった観点で事業計画へ臨み、職員会議にて園として対応すべき課題を抽出している。</p> <p><b>法人の力を借りながらさまざまな課題を捉え、計画を策定して事業運営を推進している</b></p> <p>法人本部での中長期の事業計画に加え、園の事業計画書も策定して方向性を明確にしている。運営委員会の運営と連携した「事業計画書(毎年)」が作成されており、そのほかの年間計画として、年間保育計画・食育計画・保健計画・行事計画などを作成し、現場の活動に反映させている。計画の見直しについては、月ごと、期ごと毎などの期間に応じた運営の振り返りが行われており、総括による事業報告書が作成されている短期の計画としては、月案や週案を作成しながら保育の実践に取り組んでいる。</p>		

3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
<b>評価項目1</b> 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる <span style="float: right;">評点(〇〇)</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当
サブカテゴリ2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
<b>評価項目1</b> 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている <span style="float: right;">評点(〇〇)</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
<b>評価項目2</b> 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている <span style="float: right;">評点(〇〇)</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリ3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
<b>評価項目1</b> 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる <span style="float: right;">評点(〇〇)</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当
<b>評価項目2</b> 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている <span style="float: right;">評点(〇〇〇)</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当

### カテゴリー3の講評

#### 園で大切にしている守るべき保育について、新人採用時から丁寧に説明を行っている

園の職員が遵守すべき事項は就業規則に記載され、人事考課を踏まえて自己評価が行われている。新人研修の際には管理者層が大切にしている保育について細かく説明を行い、園内の会議の際にも園長が折に触れて守るべき事項について説明し、職員に周知や共有を図っている。保護者と取り交わす重要事項説明書で苦情解決の仕組みについて説明を行い、保護者と懇談する機会にも説明を加えています。苦情解決についての保護者アンケートでは肯定的回答が伸びている。

#### 子どもの発達を踏まえた養護、及び教育を一体的に行う保育に努めている

保育方針に「子どもの発達を踏まえた養護、及び教育を一体的に行うことにより、子どもたちの生きる力を育みます」とあり、子どもに対する呼びかけや働きかけなどの行動についても方針に沿った対応を図っているかを確認し、気付きを大切にしている。園の活動については第三者評価の受審と結果を保護者や職員に開示している。また、子育て支援を通して地域社会に貢献する上で、「公立保育園の園庭交流」「隣接している老人介護施設デイサービスとの交流」が行われている。

カテゴリー4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリー1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 <b>5/5</b>
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
サブカテゴリー2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 <b>4/4</b>
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリー4の講評		
<p>複数のリスクに対する対策を講じているので、より一層リスクをマネジメントしてほしい</p> <p>保育の中で特にリスク高い地震や家事などの災害、大規模災害、不審者等の対応は年間計画を立て訓練を行っている。年間計画で立てた避難訓練や不審者訓練は、計画的に様々な状況を想定して(時間・状況・想定される内容)対策をするための訓練を行っている。園内の事故や感染症については事故簿に記入で起きた事の詳細や医療機関の受診やり取りについて記録している。事故簿は記録を職員間で周知し、保育内容の見直しや改善策の検討及び再発防止を行っている。これからも、より一層のリスクをマネジメントする取組に期待している。</p> <p>個人情報保護法に対応した情報の保護と共有に関して取り組んでいる</p> <p>個人情報保護法に対応した情報の保護と共有に関しては、条例などにもとづいた運営が行われている。保護者に対しては、「個人情報取扱指針」に沿った情報の利用目的を重要事項説明書やホームページ、利用規約で説明している。一方、SNS等の掲載許可書をもらうなど一定の取組は行われているが、規程の明示と開示請求の解説などの保護者への説明は十分とは言えず、個人情報保護法を始めとした倫理や規定などの保護者説明に関するわかりやすい資料がほしい。</p>		

5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
<b>評価項目1</b> 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている <p style="text-align: right;">評点(〇〇)</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
<b>評価項目2</b> 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している <p style="text-align: right;">評点(〇〇)</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当
<b>評価項目3</b> 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
<b>評価項目4</b> 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当
サブカテゴリ-2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/3
<b>評価項目1</b> 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当

#### カテゴリー5の講評

##### 採用面接での評価し、厳しい採用環境下での法人と園の特色と魅力の伝達に期待したい

職員の採用プロセスは、本部の採用担当が自社のホームページや地元の求人サイトを活用して行われている。採用面接は、法人の採用担当者と園長が共同で実施し、候補者の一般常識、コミュニケーション能力、保育実践力、表現力、素直さ、優しさ、向上心、探求心、創造性、洞察力などを評価して最終的な決定を下している。現在、厳しい採用環境の中で、ホームページのリニューアルも予定しているので、今後はSNSや動画を活用し、法人や園の特色と魅力をより分かりやすく伝えることで、人材採用につなげていくことを期待したい。

##### キャリアアップと労働意欲の醸成として、キャリアパスや人事評価が行われている

当法人では、職員のキャリアアップへの意欲と労働意欲を高め、やりがいを感じられる労働環境を創出することを目指して、キャリアパス規定を設けている。この規定には、4つの階層と5つのキャリア等級が明記されており、それぞれが職責と基本給に連動している。また、職員が掲げる目標については、年2回実施する園長との人事評価面談で確認し、適切なフィードバックを提供している。

##### 職員が安心して働ける環境として100%の有給休暇取得と福利厚生制度が充実している

当法人では、職員が希望する休暇を取得しやすい環境を整備し、その結果、有給休暇の取得率は100%を達成している。さらに、社会保険の完備、産休・育休制度、研修制度、健康診断補助、インフルエンザ予防接種補助などの福利厚生制度を通じて、職員が安心して働ける環境を提供している。また、組織力を向上させるための取り組みとして、保護者との接遇や、支援が必要な子どもとの適切な接し方について学んだ職員は、研修報告書を作成し、その知識を全職員で共有している。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

昨年度は保育士の人手不足を重点課題と捉え、重点目標に人材の獲得を掲げている。昨年度の重点施策として保育士が見て楽しいと思っ  
て貰える様な視点も交えたブログを更新に取り組んでいる。その結果、重点目標に掲げたことが達成できなかった。その理由として、全国的に保育士不足が問題になっている事もあり、採用サイトを使用してもなかなか働き手が見つからなかった。

<p>目標の設定と 取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</li> </ul>
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</li> <li><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</li> <li><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

昨年度は保育士の人手不足を重点課題と捉え、重点目標に人材の獲得を掲げている。昨年度の重点施策として保育士が見て楽しいと思っ  
て貰える様な視点も交えたブログを更新に取り組んだが、採用することができなかったのは残念である。なぜ採用できなかったかを考え  
たい。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

昨年度は利用児の獲得を重点課題と捉え、重点目標に利用者確保を掲げている。昨年度の重点施策として入園させたいと思える様な視点で活動の様子をブログの掲載に取り組んでいる。3~5歳児クラスは4月の入園から定員を満たすが、3~5歳児クラスは連携園からの移行も少なく定員に空きが出ている状態が続いている。こうした一連の取組を検証し、今年度に向けて、今後期待できる事として、1・2歳児クラスからの移行を確実にする事で全体数を増やす事ができる。利用者の満足度を上げていきたい。

目標の設定と取り組み	<ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</li><li><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</li><li><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</li></ul>
取り組みの検証	<ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</li><li><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</li><li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li></ul>
検証結果の反映	<ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</li><li><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</li><li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li></ul>

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

重点目標に利用者確保を掲げている。昨年度の重点施策として入園させたいと思える様な視点で活動の様子をブログの掲載に取り組んでいるが、4月の入園から定員を満たすが、3~5歳児クラスは連携園からの移行も少なく定員に空きが出ている状態が続いている。今年度に向けて、今後期待できる事として、1・2歳児クラスからの移行を確実にする事で全体数を増やす事ができるため、利用者の満足度を上げてほしい。

## Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ1の講評		
<p>利用希望者は園のホームページやパンフレット等で園の情報を入手できる</p> <p>園のホームページには園の紹介、サービスの紹介、入園案内、見学の申し込み、定員の空き状況、保育の様子、SNSの情報などを写真付きで掲載し視覚的にもわかりやすく伝える工夫をしている。園のパンフレットには理念・保育方針、保育の様子など写真やイラストを多彩に活用して園の理念「Ohana(家族)」の想いを伝える工夫をして作成しており、利用希望者は園に関する様々な情報を入手することができる。区のホームページにも保育園情報として園のホームページが紹介されている。</p> <p>利用希望者からの問い合わせや見学の要望には丁寧に対応している</p> <p>利用希望者からの問い合わせには丁寧に対応することを心掛けており、見学日はできる限り希望者の要望に添えるようにしている。見学時には園の特色が掲載されているパンフレットを配布し、質問にも答えながら丁寧に対応することを心掛けている。日本語の理解が難しい方には日本語のルビを振った資料を配布したり、通訳者の同席や翻訳アプリを使用したりして対応している。</p>		

サブカテゴリ-2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当
サブカテゴリ-2の講評		
<p>入園面接では個別の状況を聞き取り、園生活に必要な保護者の理解と同意を得ている</p> <p>入園面接では面談票の項目内容に沿って、保護者の就労状況や保育時間などの家庭状況、食事状況、アレルギーなどの健康面、排泄・睡眠などの生活面について丁寧に聞き取りをして個別の状況を把握している。入園手続きの際には、園の基本的ルール、サービス内容、利用料金等に関する情報が明記された「キッズルームOhana平和島園ご利用のしおり」を保護者に配布し、重要事項説明同意書及び個人情報使用等に関する同意書をもっている。災害共済給付制度の加入や給食提供に関するお願いと注意事項などについても併せて説明し理解を得ている。</p> <p>入園直後には個別の子どもの様子に合わせて「慣らし保育」を行っている</p> <p>慣らし保育については、子どもの状況、保護者の就労状況、家庭の事情など一人一人の状況に考慮して期間を決めて実施している。慣らし保育の期間中は、保護者の方と積極的にコミュニケーションを取り、子どもに関する状況を共有することで子どもや保護者の不安を軽減させ、信頼関係が構築できるように努めている。保育予約表兼スポット延長保育利用申込書を提出してもらうことで保育時間の短縮や延長など個別の要望にも対応している。</p> <p>必要に応じて関係機関への引継ぎを行い、継続的な支援に努めている</p> <p>退園及び転園が決定した園児については、お別れ会をしたり、在園児からプレゼントを用意して渡したりするなど園生活の思い出を残す時間を過ごして送り出している。子どもや保護者が不安を訴えてきた場合には積極的なコミュニケーションを心掛け、寄り添いながら対応するよう努めている。支援が必要な子どもの場合には、適切な関係機関に退園及び転園の情報を伝え、個人情報の共有などは必要に応じて在園時記録の情報提供などを行っている。</p>		

サブカテゴリー3		
3	個別状況に応じた計画策定・記録	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 13/13
<b>評価項目1</b> 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当
<b>評価項目2</b> 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○非該当
<b>評価項目3</b> 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当
<b>評価項目4</b> 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている	○非該当
サブカテゴリー3の講評		
<p>子どもの心身状況の把握と指導計画の立案に向けた取組とPDCAの展開を図っている</p> <p>新入園児の面接では提出された書類を基に家庭生活、食事や睡眠の状況、保護者の意向などを確認し、これらの情報は職員間で共有している。入園後も連絡帳、保育経過記録、身体測定表、健康診断表、個人面談記録などの様々な書式を通じて、各児童の心身の状況を把握している。保育は年間指導計画を元に月案が作成され、それを基に個々の指導計画が立案されている。年間指導計画は期ごとに保育ミーティングで見直し部分話し合い、改善している。保育ミーティングでは子どもたちの様子を捉えた計画を立て、PDCAのサイクルを展開している。</p> <p>年齢別の発達状況を考慮した全体的な計画と個々の育ちを重視した保育の進行をしている</p> <p>1～5歳児までの子どもと共に生活する異年齢保育を実施しているが、全体的な計画に基づいた年間の保育計画は年齢ごとに発達状況を見込んだ視点で作成され、個々の育ちを大切に、保育を進めている。クラスの月間目標を園だよりに掲載し、目標を踏まえた子どもの姿や成長をわかりやすく示している。個別計画は一人一人に合わせた月の目標を立て、援助して成長した部分、翌月に向けた取組を記載している。指導計画は保護者の要望により開示できるが、今後、積極的な週案の掲示や個別目標の提示などに期待している。</p> <p>一人一人の子どもの状況を統一した様式で把握し、情報を共有している</p> <p>園では一人一人の成育歴を踏まえた子どもの姿を正確に記録し、成長を把握している。個別日誌には園生活の一日の様子、養護と教育、食育の視点で記録し、連絡帳や受入れ時の情報も追記載している。全ての記録をリーダーが確認後、園長、主任が目を通して、職員連絡ノートや引継ぎ連絡簿などを使い、子どもの情報、記録を共有できる体制が整っている。また、気になるケースの場合、職員が抱え込まずに、相談できる仕組みがある。保護者からは「自分の子どもを全職員で見守ってもらっている」と評価を得ている。</p>		

サブカテゴリ-5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和りとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得ようとしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
サブカテゴリ-5の講評		
<p>子どもに関する情報の保護に努め、子どもの羞恥心に配慮した保育を実施している</p> <p>入園時に個人情報保護の取扱いについて説明し保護者の同意を得ているが、保護者の同意無くやり取りする場合と保護者の同意が必要な場合があり、個人情報保護の観点からその都度個別の状況に応じて必要な様式を使用しながら慎重に対応している。日常の保育では、着替えの際は裸にならないよう3～5歳児はラップタオルを使用し上下別々に行う方法を伝えたり、水遊びの際は衝立を使用したりして子どもの羞恥心に配慮している。健康診断時は服を着たまま衝立をして実施しており、おむつ交換はトイレ内の仕切りがある場所で行うなどの配慮に努めている。</p> <p>子どもの意思を尊重し、虐待防止や人権について職員の意識向上に取り組んでいる</p> <p>3～5歳児クラスでは遊びの内容を自分たちで決定できる時間を作るなど、子どもの主体性が育まれるような支援を心掛けている。子どもの午睡時の様子を記録したり、感染症の状況を園内掲示したりして保護者に子どもの健康管理に関する説明を行い、情報共有に努めている。人権擁護のためのセルフチェックリストの園内研修を行い、職員の意識向上に取り組んでいる。日々の保育を行う上でセルフチェックを行い、振り返りをして職員一人一人が意識した行動に努めている。虐待の可能性が疑われる場合には関係機関と連携して対応する体制が整備されている。</p>		

サブカテゴリー6		
6	事業所業務の標準化	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
<b>評価項目1</b> 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		<b>評点(〇〇〇)</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当
<b>評価項目2</b> サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		<b>評点(〇〇)</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
サブカテゴリー6の講評		
<p>提供しているサービスの基本事項や手順等は法人で各種マニュアルを整備し活用している</p> <p>提供しているサービスの基本事項や実施手順等は法人で各種マニュアルを整備し、事務所に保管して職員が必要な時にいつでも閲覧できるようにして活用している。具体的には、危機管理マニュアル、虐待防止マニュアル、食物アレルギー対応マニュアル、大田区安全保育マニュアル、保育園防災の手引き、就業規則などの内容で整備している。新入社員へは手引き・チェックリスト・各種フローを活用して育成を行っている。感染症対応や緊急時対応についてなどは簡易的に記載したマニュアルを作成し、すぐに確認できる場所に掲示して活用している。</p> <p>サービス向上をめざし、標準的な業務水準を見直す取組を行っている</p> <p>法人作成の各種マニュアル類は日常的な業務で活用できるよう、わかりやすい内容になっている。園の事業計画などについては職員会議で検討し見直しをしながら進めており、進捗状況についてなども会議で確認をして職員で共有化している。運営に対する保護者からの意見や要望は、保育室前に設置したアンケートボックスや年2回の運営委員会、行事後アンケート、個人面談、懇談会等で把握し、職員会議で意見を出し合い変更や見直しを検討している。職員の意向については、職員会議や個別面談で把握し、具体的な意見を運営に反映させている。</p>		

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	36/36
1	評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている	評点(〇〇〇〇〇〇)	
	評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目1の講評			
<p>日々子ども一人一人の状態の把握を行うと共に、主体性を育む保育を心がけている</p> <p>入園前面談で聞き取りをした健康報告書や乳幼児書を基に、日々の連絡帳や朝の保護者との会話で得た子ども一人一人の状態を把握して個々に応じた保育を行っている。保護者から聞いた情報を申し送りノートに記入して職員は共有を図っている。全園児で毎朝行われる「朝の会」では異年齢児で過ごし、思いやりや労りの気持ちが持てるような関わり方を伝えている。幼児組はその日の活動内容を子どもたちで意見を出し合い保育者がヒントを与えながら子どもの声を優先して決め、子どもが主体的に遊びに向かうことができる配慮を行っている。</p> <p>在籍する外国籍の子どもたちを通して互いの国の文化や習慣の違いを知らせている</p> <p>地域柄7か国の外国籍の児童が在園している。異なる文化や習慣の違い(宗教上の事での食生活や生活上の事など)を保護者から教えて貰い保育士が快く受け入れ、子ども達にわかりやすい言葉に替え他国の事を知らせ互いが尊重できるような配慮をしている。毎週ネイティブな外国人講師による英語の時間では、外国籍の子どもたちは「自分たちが理解できる言葉」に意気揚々と参加し楽しんでいる。日本の子どもたちも流暢な英語を聞き数や名詞を知るだけでなく、ゲームをしたりコミュニケーションツールとして挨拶を覚え、講師と楽しい時間を過ごしている。</p> <p>友だちと仲良くするためのルールを知らせ、小学校への円滑な連携を行っている</p> <p>子ども達に友だちと仲良くするためには「自分が我慢しなければいけない時もある」などの社会的なルールを知らせている。子ども同士のトラブルの際には、その状況を把握して互いの意見を聞き思いを受け止め、年齢に応じた支援を行っている。両保護者には謝罪とその時の状況を詳しく知らせ理解を得るようにしている。年に2回行われる保幼小連絡会に担任や園長・主任が参加して連携を図り、小学校への円滑な接続が図れるように5歳児は年明けから午睡をせずに静かに座って平仮名や数字などのワークを担当と行っている。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>登園時の保護者との会話を通して、子どもの体調の変化などを確認している</p> <p>登園時には早番の保育士や担任が健康観察を行い、表情や体温を確認している。保護者から帰宅後の子どもの体調の変化や様子など会話で得た情報を、申し送りノートに記入して職員への周知を図っている。1・2歳児は個別の連絡帳を通して、家庭と園で食事や排泄・睡眠などの連絡を取り合っている。乳幼児共に写真入りでエピソードを記入した「本日の様子」を毎日掲示して子どもの様子を知らせると共に、保護者との積極的なコミュニケーションを取ることを大切と考え、直接言葉を交わし子どもの様子を伝える事を全職員の共通理解として実施している。</p> <p>基本的な生活習慣を家庭と連絡を取り合い、自立に向けた取り組みをしている</p> <p>基本的な生活習慣の自立は園だけで行うものだけでなく、家庭と共同で行う事で身につくものと考え「一緒にやってみよう」と声かけを行い互いに連絡を取り合い子どもに無理なく行えるよう取り組みを進めている。トイレトレーニングは本人がトイレに興味を持った時から始め、箸の使用は家庭からの持ち込みを良しとして、「この箸を使って食事してみたい」と言う思いが育ってから始めている。外国籍の子どもには本人の意思に任せているが、保護者から「箸で食事をさせたい」と言う要望を受けた際には、子どもの意思を確認して進めている</p> <p>保護者の要望を配慮しながら、子どもに合わせた休息時間の調整を図っている</p> <p>保護者に基本の休息時間は13時00分～15時00分と説明をしているが、子どもの年齢や発達・その日の様子を見ながら早めに入眠に誘ったり状況に応じた睡眠時間を考慮している。また、家庭での子育てがスムーズにいっように保護者からの要望で早めに目覚めるように声をかけたり、少し長めの時間にするなど子どもの休息時間を配慮している。降園時には子ども一人一人の園での様子を丁寧に伝え、トラブルなどの個別な状況を説明しなければならない時には、他の保護者を考慮して事務室で話をするなどの配慮を行っている。</p>		
3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>子ども達が自主的に行動ができるための働きかけを、職員同士で話し合っている</p> <p>子どもが自主的に遊びに向かえるように玩具を取りやすく、見やすい位置に置くことを心がけている。子どもたちが自主的に行動できるように時計の針に野菜や果物のイラストを張りゆとりをもって行動できるように「〇〇になったら、片づけよう」などと事前に知らせている。自分で意識することが苦手な子には個別に「もう少しで〇〇になるよ」と知らせスムーズに次の行動に移る事ができる配慮をしている。続きをしたい玩具は棚に置いたり、もっと遊んでほしい時には、隅や他の場所で遊びの続きが行えるような場や時間の保障をしている。</p> <p>子どもの行動や指差しの場所に目線を揃え、伝えたい事を理解して言葉に置き換えている</p> <p>日々の保育の中で絵本などの読み聞かせの機会を多く持ち、豊かな言葉や表現が楽しめるように育てている。子どもの指差しの場所に保育士は目線を落とし、同じ目線で子どもの発見に気付き、伝えたいことを理解して応答的なかわり方をする事で伝える事や伝えることのうれしさや楽しさを知らせている。食事時の「これなあに？」の問いかけにただ答えるのみでなく食材への興味を深める為に他の機会に食材が出ている絵本の読み聞かせを行い、食材と名前を一致させたり「あまい・しょっぱい」などの会話を多くすることで語彙を増やす機会を育てている。</p> <p>園庭が無いために目的によって場所を変え、積極的に戸外活動を楽しんでいる</p> <p>3歳児から5歳児では朝の会でどこへ散歩に出かけたいか何をしたいのかの話し合いを子どもたちで行い、その目的に合わせた場所を決めている。公園で虫を見つけ捕まえてビニール袋に入れて持ち帰っていたが、園に戻った時には虫は瀕死の状態となっていたために子どもたちから「虫取り籠と網が欲しい」と要望が出て購入し、散歩時に持って出かけ捕まえてきた虫を園で飼育している。虫と触れる体験を通して命の大切さを知る機会となっている。また、散歩で収穫してきた落ち葉やどんぐり・まつぼっくりなどの自然物を使って制作物作りを楽しんでいる。</p>		

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>日常の中で行っているゲームを保護者と共にすることで、遊びへの興味関心を広げている</p> <p>親子遠足へは近隣の公園へ保護者と一緒に来てもらいゲームを親子で一緒に楽しんでいる。親子遠足に向けて沢山のゲームを普段の活動の中に多く取り入れたことで、子どもたちは覚える事に動いている。「保護者と一緒に楽しみたい」という思いから自分たちが覚えたゲームを保護者にどう言葉でやり方を伝えたら保護者は理解してくれるかを考えながら説明をしたり、保育者にやりたいゲームを伝えたりと自分の欲求を伝える方法を学び遊びへの興味関心を広げている。毎月行われる誕生会では職員による出し物を見る事により演じる事への刺激を受けている。</p> <p>保護者作成の応援旗を見る事により意欲が向上し、運動会で達成した姿を見せている</p> <p>運動会には家庭で作って貰った応援旗を室内に掲示して、「家族が応援してくれているから頑張ろう」という意欲を引き出し練習に励んでいる。同年齢の人数が少なく3歳児から5歳児共同で競技を行う為にダンスの練習ではなかなか掛け声が揃わず何度も練習を重ね、保育者のわかりやすい言葉の声かけで掛け声が揃い、フラダンスの衣装を身にまといohanaを意識したハワイらしい雰囲気の中でダンスを披露して達成感を味わっている。3歳児が中心となってしまったために5歳児には物足りない時もあるが、心を共にするという事で労りの気持ちも育っている。</p> <p>保護者参加の行事を工夫し、保護者に園と一体感を感じて貰えるようなものとしている</p> <p>保護者に園との距離感を近く感じ、一体感を持って参加して貰えるように夏まつりでは、子どもたちの作った商品を販売する模擬店の店員やおみこしを担いで練り歩くときの誘導のボランティアを募り、沢山のボランティアが集まっている。運動会では一人一人の保護者に応援旗を作ってもらい、親子間や友だち同士で楽しさを共有しコンセプトにあるohanaの名のように「家族で」一つの行事を作り、小規模園だからこそできる心温まるものとしている。日々の様子は写真入りの「本日の様子」にコメントを入れて掲示して、子ども行事への意欲を伝えている。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>スキンシップを大切に好きな遊びができる環境を整えている</p> <p>現在定期延長保育利用者は、4名で時折スポット延長保育に1名入る時もある。夕方の疲れが出る時間帯となるため少人数でゆったりと過ごし、特にスキンシップを大切にしている。玩具は大きな年齢の子どもたちが小さな子の玩具を使いたいなどの要求にも答えテーブルの上で落ち着いて好きな遊びができる環境を整えている。ゴロゴロしたい時にはマットの方に移動するように声をかけ年齢が小さく眠くなってしまった時には、布団を用意し短時間横にするなどの配慮をしている。</p> <p>担当職員はシフト制となっており、職員の引継ぎを密にしている</p> <p>湿度や室温の調節をし、換気を行いながら子ども達が快適に過ごすことができるように配慮している。職員はシフト制となっているが、職員の人数も少ないために子どもたちはどの職員とも顔見知り安心して過ごすことができる。延長の補食時間は18時30分に朝のおやつと同様の物が出て食している。一人一人の子どもの健康状態やエピソードを漏れなく伝えることができるように、申し送りノートを活用して引継ぎを行い保護者に伝えている。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>行事など特別な日には可愛いイラスト柄の紙皿を使い、食事を楽しいものとしている</p> <p>みんなで顔を合わせ、子どもが絵本で覚えた食材の指さしに保育士が「〇〇だねえ」と共感するなど会話をしながら食事を楽しいものとしている。行事など特別な日には可愛いイラスト柄の紙皿で提供をしてわくわく感を与え、カレーライス・麻婆豆腐などはルーを別盛りにかけてかけて食べる事は、本人の意思に任せている。スパゲティのソースなしやあんかけうどんのあんかけ別盛りやパンのジャムなども同様で別皿に入れて出している。「食べてみたら」とは勧めはするが「楽しく食べる」と言うことに趣をおき、食材に興味が持てるような声掛けを心がけている。</p> <p>月に1度給食会議を行い、喫食状況を確認しながら刻みや味付けの変更を行っている</p> <p>日々の喫食状況は、給食状況記録メモに記入して月の1度の給食会議で検討し刻みを小さめのカットにしたり、油を少なめにするなど変更をして子どもたちが食べやすいものとしている。調理師は時々部屋を廻り食事の様子を確認している。誕生会のおやつにはその日の職員による出し物に合わせた食材の形にして提供するなど保育士と調理で共同して食への意欲を高めている。外国籍の子どもの食事へも配慮を行い、宗教食やわかめご飯のわかめ抜きなど食べられないものを除いて提供するなど保護者に確認しながら個別対応を行っている。</p> <p>自分たちで植えて育てた野菜をクッキングに用いて、食への関心を深めている</p> <p>何を育てたいかを子どもたちと討議して、育てやすいピーマン、ナス、キュウリを植え、毎日水をあげ開花から野菜になっていく過程を見守り、収穫をして刻んだ野菜をピザ生地の上に並べるクッキングを行い、その日のおやつとして食している。普段「苦いから」と食べないピーマンも自分たちで栽培した野菜とあって「おいしい」とお代わりするほど食している。今後も色々な野菜を育て食物の生長を観察しながら食して野菜のおいしさを知って欲しいと考えている。年間食育計画は、調理委託業者が作成して期の反省は給食会議時に行い次につなげている。</p>		
7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>健康な生活を送るために体を動かす・食べる・休息を取ることの大切さを知らせている</p> <p>四季に応じた衣類調節や水分補給をまめに取ることを知らせている。自分の体に意識を高めるように沢山遊んで体を十分に動かすことやよく噛んで楽しく食事をすること・しっかり休息を取ることが健康に繋がることがあることに知らせ、自分の体を守ることの大切さを伝えている。健康教育としては、歯の衛生週間に保健師さんと呼び歯の磨き方を大きな口の形の模型用いてを知らせたり、手洗い・うがいは担任が手洗い場に貼ってあるイラストを基に一緒に手洗いをして知らせている。感染症が流行する季節には、まめな手洗いを促し感染症に留意している。</p> <p>囁託医との連携を図りながら、子どもの健康維持に努めている</p> <p>毎朝の健康観察時に家庭で検温してきた体温を知らせて貰っている。1・2歳クラスでは、園にて再度検温をして体調管理を図っている。囁託医による年の2回の健康診断時に保護者に「何か園医さんに質問はありますか」と尋ね、囁託医に聞き保護者に返している。園での怪我を電話で相談したり、感染症の流行状況を知らせて貰うなどの連携を図っている。SIDSについては懇談会で保護者に資料を渡し、日々1・2歳児は10分ごとに3歳から5歳児は30分ごとに寝ている顔の向き・呼吸・発汗等を見て午睡時のチェックに記載して予防を行っている。</p> <p>保護者に感染症などの発生状況やお便りを配布して、子どもの健康管理を図っている</p> <p>園にて感染症が発生した際には「トピックス情報」として病名・発生クラス・発生日を記載して掲示し、合わせて病児保育利用のお知らせも掲示して、保護者に知らせている。行政からメールで送られてくる「健やか子育てたより」を配布して子どもの健康管理を図っている。毎年行政主催の交通安全教室を園内で実施して子ども達に正しい道路の歩き方等を知らせたり、消防署へ出向き煙探検を行い火災で煙が立ち込めた時の避難の仕方などを体験を行い、安全教育に配慮している。</p>		

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている		○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている		○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている		○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している		○非該当
評価項目8の講評			
<p>保護者の個別の事情に配慮すると共に日々の会話を大切にして信頼関係を構築している</p> <p>保護者の個別の事情は入園前面談で記載してもらった資料により、把握している。スポット延長保育の申込みの基本は20日前としているが、わかった時点で連絡を貰えばいつでも受け付けている。また土曜日保育についても同様で基本は勤務証明書の提出が必要と有るが、事情により連絡を貰えば受け付けている。保護者との日々の口頭での会話を大切にして家庭での様子を聞く際にも、必ず園でのエピソードを伝えたり、個人面談を年に2回行い成長の様子や今の子ども状態を共有しコミュニケーションをとり信頼関係の構築を図っている。</p> <p>懇談会や保護者参加行事を行い、保護者同士交流を図ることができる場を設けている</p> <p>年に2回懇談会を行い、園での子どもの様子や今後の予定(年長組では、布団敷きなどのお手伝いや平仮名や数字の時間)などを知らせた後に、保護者同士の懇談の場を設けている。クラスによっては事前に話したい内容を保護者から出してもらったり、「食べ物の好き嫌い」等の題材で懇談を行うなど保護者同士が和気あいあいとなる様に配慮している。また、夏まつりで同じボランティアをして、保護者同士が互いの子どもの様子を聞き合ったりと交流を図ることができる機会を設けている。</p> <p>園だよりや献立表・資料などを配布して保護者の養育力を向上を図っている</p> <p>年に2回行われる個人面談では共に成長を確認しながら現在の様子を知らせ、年長児の保護者には、小学校へ送る要録に記載する内容を伝えている。園だよりでは、運動遊びのコツや献立表には、季節に合わせた栄養素の取り方や抵抗力をつけるための過ごし方を知らせ、保護者に子育ての参考になる資料としてフォークや箸の持ち方や手洗いの仕方などを記載した資料の配布も行っている。保育参加を通して我が子が順番を待つ姿や他の子のとの触れ合う様子などを見て成長している姿を再認識するなど保護者の養育力向上を図っている。</p>			
9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している		○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の方の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している		○非該当
評価項目9の講評			
<p>消防署などに出向き、煙探検やスケルトン清掃車の見学を行い多様な体験を行っている</p> <p>夏まつりにはおみこしを担いで一周して近隣の方から声援を受けている。隣接する高齢者福祉サービスさんとの交流が再開され、七夕会に出向き通所者の方に歌を披露したり、ハロウィン時には仮装して出かけお菓子を貰うなど一緒に時を過ごし交流を図っている。また消防署に出向き煙探検の経験をしたり、スケルトン車見学をして清掃車の中のごみの圧縮の見学をするなど多様な交流や経験を行い、子どもたちの視野を広げている。コロナ前には小学校の体育館を借りて運動会を行っていたので、今後に向けて考慮していきたいと思っている。</p> <p>園に外国人講師を呼びネイティブな英語に触れるなど多様な人と関わる経験をしている</p> <p>週に1度外部講師による絵カードを使っての歌や数字や色・ゲームなどネイティブな英語に触れる機会を設けている。歯の衛生週間には行政の保健師さんに来園してもらい、歯の模型やイラストによる歯磨き指導を受けたり、行政主催の交通安全指導を行い、道路の歩き方や横断歩道の渡り方などを知らせて貰う機会を設けている。また、避難訓練時に消防署の方に来園してもらい避難の仕方の指導を仰ぐなど多様な人と関わる経験をしている。地域の子育て家庭に向けた取り組みを来年度に向けて考慮している。</p>			

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	公園の遊具や散歩が子どもたちの好奇心や健康な成長を支えている	
内容①	園の周辺には数か所の公園があり、夢中になれる遊具も数多く設置され、それらは子どもたちの好奇心や健やかな心と身体の発達を支える場所となっている。また、歩けない子はカートで移動して現地で歩くといった、個々の体力に合わせた対応を行うことで、どの子にとっても無理なく楽しく参加できる散歩になっている。園の玄関先には「お散歩マップ」が掲示されており、公園の遊具を写真や図で示し、園内や経路の危険箇所などを示して安全な活動につなげている。園外活動に対して経験したことを思い起こせたり、これから期待する気持ちをより広げている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-1	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている
タイトル②	少人数保育の良さを生かし、子ども一人一人に暖かく寄り添った保育を行っている	
内容②	ワンフロアの部屋を1・2歳児室、3歳～5歳児室の2クラスに分け、異年齢保育で保育を行っている。大きい子どもたちは小さな子どもへ労りの気持ちを持ち接し方を考えたり、大きな自分を見せたい為に弱い自分を抑えようと我慢する力が育ち、小さな年齢の子ども達は大きな子どもへ憧れや信頼感が育ち真似て色々な事に挑戦する姿が育っている。一人一人の思いを受け止め低年齢児や集団保育に馴染めない子へなどに遊びの空間の分ける等その日の子どもの状態に寄り添った保育を心がけコンセプトにあるohanaの家族のような暖かな保育を行っている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目		
タイトル③		
内容③		

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	週の予定や写真とエピソード入り「本日の様子」を掲示し、登降園時の保護者との会話で子どもの姿を知らせて保育の見える化を図っている。
	内容	昨年の運動会はコロナ化で子どもの姿を見る事の出来ない保護者の気持ちに寄り添い動画配信を行っている。週の予定の掲示や写真の入りエピソードを入れた「本日の様子」を乳幼児1枚ずつ更新して掲示し、日々の保育を可視化している。また、登降園時の保護者に子ども一人一人のエピソードを交えて口頭で伝えたり、廊下や室内に子どもたちの作品を掲示して知らせている。年2回行われる個人面談では互いに子どもの姿を伝え合い、年長児の保護者には小学校へ送る要録に記載した内容の確認を行い共通理解を図るなど保育の見える化を図っている。
2	タイトル	子どもが食べようと言う意欲が持てるような配慮や、食に対する多様な体験ができる工夫を行っている
	内容	在園している外国籍の子どもの食べ物文化も違うこともあり、わかめご飯をわかめ抜きご飯にしたり宗教食など個別の対応を行っている。また、子どもの嗜好に合わせて丼物など具とご飯を別盛りにした提供で子どもが食べようとする意欲を育てている。「嫌い」と食べなかった野菜も友だちに誘発されたり、園で育てているナスやピーマンもピザにトッピングするクッキングを行い「美味しい」と食べている。土の中に埋めてあるジャガイモやサツマイモを子どもたちが掘り起こして焼き芋や蒸し芋にして食すなど子どもたちが多様な体験ができる工夫を行っている。
3	タイトル	夏まつりに保護者をボランティアとして招き入れたり、運動会の応援旗作りを各家庭に依頼するなど、保護者を巻き込んで行事を盛り立てている
	内容	夏まつりでは保護者をボランティア依頼をして、子どもと一緒に模擬店の販売員になって貰ったり、子どもが担ぐおみこしの誘導依頼をしている。運動会の応援旗作りを各家庭に依頼し家族が作ってくれた応援旗を見ながら子どものやる気を引き出すなど、保護者を巻き込んで行事を盛り立てている。保護者同士や保育士も同じ目的に向かう連帯感や深い信頼関係を育てている。また、隣の高齢者福祉ディサービスさんにも日常と変わらずに保育参加を受け入れ、保育室では見る事の出来ない姿の子どもを発見し保護者に子ども理解が深まるような機会を与えている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	ヒヤリハット記録とBCPIによるリスクマネジメントの強化は優先順位の検討とシミュレーション訓練の重要性を期待する
	内容	リスクマネジメントの一環として、ヒヤリハット記録によりリスクの特定を行い、特定したリスクについて、対策を講じる優先順位の検討を行ってほしい。そして優先順位に応じた必要な対策をとっていくことでより安全性がより高まるのではないだろうか。また、既に緊急事態に備えたBCP(事業継続計画)などが策定されているが、十分な理解に繋げるために、机上によるシミュレーション訓練を実施してほしい。そして、再アセスメントすることで、自園にあったBCPの策定に期待する。
2	タイトル	新時代の人材採用に向けて、保育資格とデジタルメディアを活用した当園の取組を広く伝え、人材確保に繋げてほしい
	内容	当園では、保育資格を持つ職員を採用の基準としている。業界全体で見ても人材確保は一大課題であり、当園でも同様に重要な課題と位置づけている。職員アンケートからは、保育現場での人手不足の改善を求める声が多く寄せられている。人材確保の一環として、求人サイトを通じた求人募集を行っているが、さらにホームページのリニューアルも予定しているので、今後はSNSや動画を活用し、法人や園の特色と魅力をより分かりやすく伝えることで、人材採用につなげていくことを期待したい。
3	タイトル	今年度取組の事業計画が明らかになっているが、中期の事業推進も視野に入れた中期計画の策定に期待したい
	内容	園の理念の具現化に向けた事業計画について、毎年ローリングしていく計画を策定しているが、中・長期計画との結びつきの面では課題が見られた。園のビジョンの実現のための道筋を明らかにした中・長期事業計画の策定が望まれる。例えば人材採用や業務の削減、働きやすい職場環境など、直ぐには実現しにくいものもあるため、期限や着地点を定め、この視点を展開させながら、職員に園の将来像を理解してもらい取組に期待したい。また、中期で達成したいビジョンを職員間で共有できていないとするならば、まず共有することから検討したい。